

## 第四百四十四話 終戦直後に起きたこと

「玉音放送」に一時的に動揺が広がった陸海軍部隊であったが、大部分の部隊は粛々と復員に向けて動き始めた。しかし、一部の部隊では徹底抗戦の動きを見せたり、あるいは逆に、規律が弛緩して無断離隊や軍需物資横領が発生したりするなどした。「徹底抗戦」を叫ぶ陸海軍将兵は全国各地に大勢いたものの、全体的には天皇陛下のご命令に無条件で従う「承詔必謹」が大勢であった。また狂信的右翼も騒擾事件を惹起させた。これらの騒乱は、その行動の稚拙さ等から判断すれば、多分に同時多発的な暴発であったのだろう。



### 1 宮城事件

1945(S20)年8月14日深夜から15日に掛けて、一部陸軍省勤務の将校と近衛師団参謀が、玉音放送阻止を狙いに起こした事件。森近衛第一師団長殺害、師団長命令を偽装して近衛歩兵連隊を動かして宮城占拠するも、東部軍の鎮圧により失敗した。

### 2 厚木航空隊事件

8月15日、厚木海軍飛行場で海軍航空隊が起こした騒乱事件。徹底抗戦を主張するも、6日後に鎮圧された。

### 3 狂信的右翼による事件

#### (1) 国民神風隊事件

佐々木武雄予備陸軍大尉が、宮城事件に呼応すべく、出身校たる横浜工業専門学校の有志らを募り、首相官邸と時の内閣総理大臣鈴木貫太郎の私邸などを相次いで焼き討ちにする事件を起こした。

(2) 愛宕山事件：徹底抗戦を主張する右翼団体が内大臣邸を襲撃するも失敗、愛宕山に籠城し、徹底抗戦派に蜂起を呼びかけるも呼応する者なく、8月22日警察が強制排除、集団自決

(3) 松江騒擾事件：8月24日、松江市内で青年グループ「皇国義勇軍」数十人が武装蜂起し、県内主要施設を襲撃した事件。この事件により、民間人1名が死亡。

#### (4) 川口放送所占拠事件

8月24日、抗戦派の予科士官学校等の青年将校によって、関東全域のラジオ電波の発信元であった川口放送所と鳩ヶ谷放送所が占拠され、約9時間放送が停止

### 4 一部将校が引き起こした事件や不穏行動

#### (1) 水戸教導航空通信師団事件

教導隊の一部将校と同志が上京し、終戦阻止の蜂起に加わろうとした事件である。

17日上京、近衛師団と接触するも奏効せず、部隊を撤収帰隊。首謀者は自決を余儀なくされた。

(2) 少壮参謀の皇太子奪取構想や埼玉県児玉の陸軍航空部隊の不穏行動があった。

#### (3) 西部軍の幻の徹底抗戦論

九州は独立して連合国に徹底抗戦しようという動きがあった。その準備の一環として、筑紫野市の山中には、「軍司令部壕」として、7本の地下壕が突貫工事で、造成されたが、軍管区司令官の決断で独立構想は潰えた。

<https://www.sankei.com/region/news/151215/rgn1512150061-n1.html>

### 5 高級指揮官の自決等

(1) 阿南惟幾陸相割腹自決：ポツダム宣言受諾を受け、8月15日に大臣官邸にて

(2) 田中静老東部軍司令官：宮城事件及び川口放送所占拠事件を鎮圧後に司令官室自決

(3) 宇垣中将(第5航空艦隊司令長官)等による特攻：8月15日、部下と共に特攻

\* 茫然自失、反発・徹底抗戦、胸中の思いとは別に陛下の命を承詔必謹するは美徳

(第四百四十四話 了)